

神戸舞子学院・神戸華僑総会 共催 PART 2
王羲之の故居と曲阜「三孔」を訪れる旅

書聖・王羲之が4歳まで生まれ育った中国臨沂市の「王羲之故居」と聖人・孔子を祀る曲阜の「孔廟」・「孔府」・「孔林」を専門家である魚住和晃氏と山田敬三氏(いずれも神戸大学名誉教授)が同行しご案内する、神戸舞子学院と神戸華僑総会が共催する特別プログラムです。専門家による現地での解説は通常のご旅行では体験出来ないまたとないチャンス、申し込みお待ちしております！

この春に王羲之の生誕地である山東省の臨沂と孔子の故郷・曲阜への旅を予定しています。「三孔」というのは孔子直系の子孫が代々すんだ「孔府」、孔子の神霊を祭る「孔廟」、孔子一族の墳墓十萬基を擁する「孔林」などの建造物を指す用語です。かつてはドイツの租界で青島ビールの産地となり、第一次世界大戦後日本の租界地となったリゾート地、そして今多くの別荘を抱えるエキゾチックな街・青島から入り、省都済南を高速鉄道(新幹線)で越え、バスで往復します。一緒にできれば幸いです。

講師：魚住卿山(神戸大学名誉教授)・山田敬三(神戸大学名誉教授)

曲阜 孔廟・孔府・孔林

孔廟 山東省曲阜市に位置する孔子を祭祀する廟所。中国最大の孔子廟でもある。中国歴代の皇帝達によって増築・補修された結果、宮殿のような壮大な建築群となり、紫禁城、岱廟と並ぶ中国三大宮廷建築の一つと呼ばれている。1994年以降、ユネスコの世界遺産(文化遺産)に孔府、孔林とともに三孔として登録された。孔府は孔子直系子孫と家族が住む邸宅。孔林は孔子直系子孫の陵墓となっている。



臨沂 王羲之故居

王羲之故居は山東省臨沂市蘭山区洗砚池街にあり、古典庭園式造りで、敷地面積約2万㎡、建築面積300㎡。王羲之は紀元303年に現在の臨沂市に生まれ、中国で書聖と称えられている。幼少より書を好み、いつも池のほとりで字を練習したので、池の水も墨だらけで黒くなったという故事も有る。草書・隸書・篆書に長け、特に隸書が有名。紀元307年の4歳の時に王羲之は家族と現在の紹興市へ引っ越し、臨沂の故居は仏寺となった。その後明朝の正徳年間の時に王羲之を記念するため「右軍祠」が建設され、以後何度か修復され現在に至る。王羲之の碑刻、拓本、石刻及び著名な書道家の直筆が陳列されている。



【旅行日程】 2018年4月13日(金)ー4月15日(日)

【ご旅行代金】(お一人様)

- ① 1日目 午前中空路関西空港⇒青島空港、到着後青島市内観光(小魚山公園、八大関)、夕刻中国版新幹線にて曲阜へ、曲阜泊
- ② 2日目 午前中孔廟、孔府、孔林観光、午後専用車にて臨沂へ、臨沂泊
- ③ 3日目 午前中書聖 王羲之故居、諸葛孔明記念館見学、午後専用車にて青島へ、夕刻空路青島空港⇒関西空港。

92,000円	
一人部屋	追加 9,000円

【ご旅行費用に含むもの】

往復国際線航空運賃(エコノミークラス)、宿泊費用(2名様1室利用)、日程に明記された専用車及び観光入場料、朝食2回、昼食2回、夕食2回、各地空港施設使用料と燃油サーチャージ(10,520円)を含みます。

【ご旅行のお申し込み】 申し込み期限： 2018年3月10日(日)

下記あてに郵送、FAX、またはメールにてお名前と電話および連絡先住所をお知らせ下さい。折り返し学院より詳細な日程と必要書類をお送りいたします。

神戸舞子学院 〒655-0046 神戸市垂水区西舞子1-1-16
 FAX : 078-955-7016 Mail : maikogakuin@hyogo.zaq.jp